



2025年
3月11日
№3

貨物労連情報

日本貨物鉄道労働組合連合会
発行人:村上貴史
編集人:辻井寛明

どうする原発施策？

原発事故を忘れない



さようなら原発全国集会

代々木公園にて3月8日、みぞれ交じりの小雨が時折降る中、「さようなら原発」一千万署名 市民の会が主催する「3.11福島原発事故を忘れない さようなら原発3.8全国集会」が開催されました。貨物労連は労連組合員20名とJR総連のほか、JR東労組、JR貨物労組関東地本、9条連の仲間と共に参加しました。会場には労働組合や市民団体など、主催者発表で約三千人が参加し、原発推進施策反対の声を上げました。

呼びかけ人の1人でルポライターの鎌田慧さんは、各地での原発再稼働の動きを受け「限りなく早く原発を止めるという事故後の誓いを破り、少しでも多くやるとするのは絶対に認められない」と訴えていました。

福島での原発事故を巡り、業務上過失致死傷の罪で強制起訴された東電旧経営陣の無罪が確定することに、原発事故被害者団体連絡会の大河原さきさんは「日本最大の公害事件の責任は誰にもないのでしょか。こんな判決は間違っています」と怒りを露わにしました。

集会終了後には渋谷コースと原宿コースに分かれて「守ろう！地球環境脱原発」「No More Fukushima」「3.11フクシマを忘れない」などと書いたプラカードを掲げ、街行く人々に脱原発を訴えました。

